

園原先生碑

人々に慕われた地元の学者

この記念碑は、この地出身の著名な学者、園原旧富（1703 年～1776 年）の記念碑です。三留野の東山神社の神官の家に生まれた園原は、京都の吉田兼敬に師事して神学を学びました。神社での業務に就くために三留野に戻ってきた園原は、神学や、木曾地方の歴史に関する本を多数執筆し、多数の熱心な門人を引きつけました。

園原の門人は、園原の死後から 5 年経った 1781 年に園原を偲んでこの記念碑を建てました。その碑銘では、多数の中国の古典からの引用とともに大げさで華麗な表現を使って園原を称賛しています。

この記念碑のすぐ隣には、人目を引くイチョウの古木があり、その左側には 17 世紀後半、または 18 世紀初頭に建てられたものだと考えられている園原の家は、この時代の神官屋敷の稀少な一例となっています。この家の屋根が地面近くまで伸びていることにご注目ください。この家には園原の子孫が今日も住み続けています。